



特集

平成28年度日事連建築賞

■日事連建築賞選考委員会

- 委員長 富永 讓
法政大学名誉教授、富永讓・フォルムシステム設計研究所代表
- 委員 網野禎昭
法政大学デザイン工学部教授
- 委員 石堂 威
都市建築編集研究所代表
- 委員 伊藤明子
国土交通省大臣官房審議官
- 委員 作山 康
芝浦工業大学システム理工学部教授
- 委員 陶器二三雄
陶器二三雄建築研究所代表
- 委員 横須賀満夫
日事連理事、横須賀満夫建築設計事務所代表取締役

本連合会では、優れた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより、建築士事務所の資質の向上を資することを目的に、毎年「日事連建築賞」を実施しています。

本年度は、一般建築部門 81 点、小規模建築部門 84 点の計 165 点の応募があり、単位会での第 1 次審査を経て、30 単位会から日事連に一般建築部門 25 点、小規模建築部門 27 点の合計 52 点の建築作品の応募がありました。

6 月 9 日に第 1 回選考委員会を行い、討議及び投票の結果、まず一般建築部門 9 作品、小規模建築部門 9 作品を受賞候補として選定しました。さらに討議・検討し国土交通大臣賞、日事連会長賞及び優秀賞候補として一般建築部門の 6 作品、小規模建築部門の 5 作品を現地審査することとしました。

現地審査は 7 月 5 日から 8 月 5 日にかけて行われ、その結果を踏まえて 8 月 5 日の最終選考委員会において各賞を決定しましたので、以下にご紹介します。

国土交通大臣賞 | 小規模建築部門 (1 点)

たまプラーザの家 / 一級建築士事務所 石井秀樹建築設計事務所 (東京会)

日事連会長賞 | 一般建築部門 (1 点)

熊本県立熊本かがやきの森支援学校 / 日建設計・太宏設計事務所 (大阪会)

優秀賞 | 一般建築部門 (3 点)

資生堂銀座ビル / 竹中工務店東京一級建築士事務所 (東京会)
 仙台市泉岳自然ふれあい館 / 関・空間設計 (宮城会)
 KDX レジデンス赤坂 / 木下昌大建築設計事務所一級建築士事務所 (東京会)

優秀賞 | 小規模建築部門 (3 点)

狭山の森 礼拝堂 / 一級建築士事務所 NAP 建築設計事務所 (東京会)
 山の子保育園 / 野口大介建築設計室・藤松建築設計室・HAL 設計室 (長野会)
 実業印刷本社ビル / プラネットクリエイションズ関谷昌人建築設計アトリエ (奈良会)

奨励賞 | 一般建築部門 (5 点)

石岡第一高校管理・普通教室棟 / 三上建築事務所・エイプラス建築関連業務共同企業体 (茨城会)
 北見信用金庫紋別支店 / 北海道日建設計 (北海道会)
 新栄保育園 / 一級建築士事務所 16 アーキテクト (東京会)
 桐朋学園大学調布キャンパス / 日建設計一級建築士事務所 (東京会)
 KKC 健康スクエア / 竹中工務店名古屋一級建築士事務所 (愛知会)

奨励賞 | 小規模建築部門 (5 点)

浜松信用金庫きらりタウン支店 / 日建設計一級建築士事務所 (愛知会)
 日立の家 - コンクリート数寄屋 - / 宮本建築アトリエ (茨城会)
 森の中の森の家 / イチ・デザイン・ラボ (山梨会)
 右京の家 / 波多野一級建築士事務所 (京都府)
 こうのすまい / 内野設計 (徳島会)



親世帯のダイニングキッチンから「街路」を見る

◆ たまプラーザの家

▶ 一級建築士事務所 石井秀樹建築設計事務所（東京会）

祖母、両親からなる親世帯、子ども1人の子世帯による2世帯4世代住宅の計画である。新たに2世帯で住み始めることから、世帯間の生活時間や習慣のずれに配慮して玄関、水廻りをそれぞれ分離した計画が求められた。敷地は低層かつ低密度な閑静な住宅街にあり、計画地は90坪と比較的広い区画割りがされている。

建ぺい率は40%で、建物が建てられない空地となる60%の部分をいかに豊かに計画できるかが鍵となった。

敷地は平行した南北2本の道路に挟まれ、雛段状に造成されている。この2本の道路を繋ぐように「街路」を縦断させて、外部の空気をそのまま敷地内へ引き込んだ。玄関や水廻りが別々でも2世帯4世代が一つの敷地で生活するからこそ生まれる豊かさを捉えたいと考え、外と繋がる「街路」が適度な社会性を帯びて世帯



親世帯、子世帯、祖母の部屋がつながる「街路」

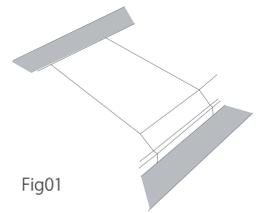


Fig01

敷地は平行した南北の道路に挟まれ、北側道路から3.5m立ち上がっている。

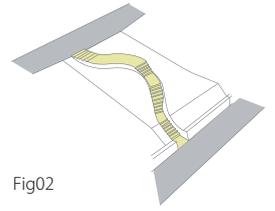


Fig02

二本の道路を繋ぐように敷地中央に階段状の街路を縦断させ外部の空気を敷地内へ引き込む。

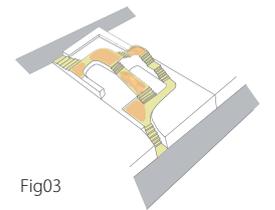


Fig03

日々の生活の中にさまざまなアクティビティが生まれるよう、街路を分岐し溜りや見え隠れを形成していく。

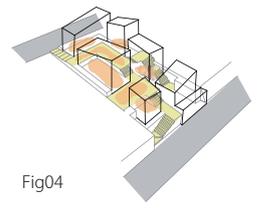


Fig04

街路と住戸の配置を整える。街路が世帯の枠組みを自然と融合させ生き生きとしたアクティビティを生み出す。

ダイアグラム

間に自然な繋がりを生む場となり、世帯を飛び越えた家族の新たな枠組みが生まれることに期待した。雁行する「街路」は時に広場になったり、細い路地になったりと多様な表情を見せながら敷地を縦断し高低差を自然に吸収していく。分棟した住棟同士は空中のブリッジで繋いで「街路」の連続性を損なわないようにした。生活が「街路」にしみ出し、世帯の枠組みが溶け出して、玄関を使わずに「街路」に面した広い開口部から各住棟へ頻繁な往来がなされている。



「街路」が世帯を超えた家族の枠組みの契機に

建設地：神奈川県横浜市青葉区／用途：一戸建ての住宅／構造：木造（一部RC造）／階数：地上2階、地下1階／面積：敷地面積 298.11㎡ 建築面積 118.89㎡ 延面積 219.15㎡



木漏れ日が降り注ぎ、大人数の集会を受けとめる無柱の学部ホール

◆ 熊本県立熊本かがやきの森支援学校

▶ 日建設計・太宏設計事務所
(大阪会)

重度重複障がいの子どもたちのための特別支援学校である。小学部から高等部まで 27 教室 81 人（設計時想定）の子どもたちが通い、健やかで安全な学びの環境を生み出すため、3つの視点で設計に取り組んだ。

1. ぬくもりにつまれた「木造の学び舎」

熊本県産の「単材」のみを用いて、木と人のぬくもりが感じられる、明るくて温かな木造平屋の校舎とした。車いすや臥位などで天井を見上げることも多い子どもたちの目を楽しませるように、ダイナミックな屋根架構を現しとした。

2. 日々の成長を育む「見守りの学び舎」

教室棟は教室が学部ホールを取り囲む「ユニット型」とし、学部単位で見守りがしやすい計画とした。横になった姿勢で学習ができる「小上



◆ 資生堂銀座ビル

▶ 竹中工務店東京
一級建築士事務所（東京会）

建築主のクリエイターと美意識を共有し、「先進性・豊かさ・オリジナリティ」をコンセプトに、景観としての建物表現から、外装、インテリア、アートに至るまでシームレスにデザインを展開した。象徴として「未来唐草」と名付けたアルミシェードで建物全体を包み込んだ。「唐草」は建築主が洗練を続けてきた代表的なモチーフであり、この建物のための3次元形状をつくりだした。「未来唐草」は周辺からの視線を制御しつつ開放感のある新しいインテリアを実現し、建物を一体で包み込むことで、銀座の街に流麗な景色をもたらしている。



建設地：東京都中央区／用途：事務所・物販店舗・飲食店・集会場／構造：S造 一部SRC造／階数：地上10階、地下2階、屋上2階／面積：敷地面積 1,116.76㎡ 建築面積 939.75㎡ 延面積 9,957.77㎡

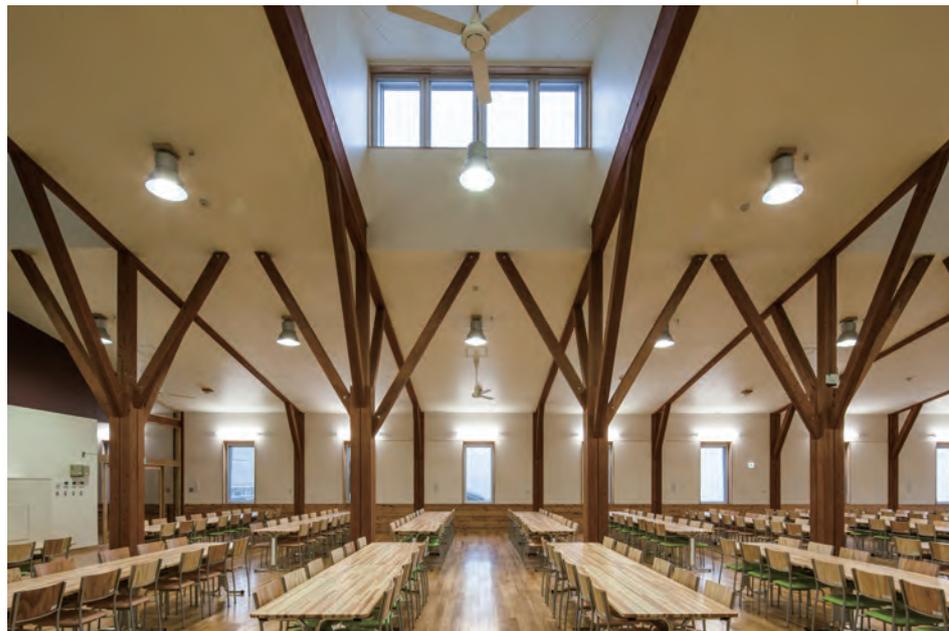


◆ 仙台市泉岳自然ふれあい館 ▶ 関・空間設計（宮城会）

泉ヶ丘のふもとにあるゲレンデ跡地という敷地の特徴を踏まえ、極力造成量を減らし、環境負荷を小さくするため、傾斜に沿って建物が寄り集まる「集落」のような配置とした。棟ごとにかたちや仕上げに少しずつ変化をつけ、調和と変化のバランスをとり、山並みと調和する佇まいを目指した。

構造体は全て宮城県産スギ材（約4,000本）を使い、4割は敷地周辺の山から調達。集成材工場のない宮城県において、木造の大空間に束ね柱や張弦梁など架構を工夫して用い、「地元の木を地元で加工して建てる」計画とした。

建設地：宮城県仙台市／用途：宿泊施設（少年自然の家）／構造：木造 RC造 S造／階数：地上3階／面積：敷地面積 30,733.06㎡ 建築面積 5,959.48㎡ 延面積 8,467.79㎡

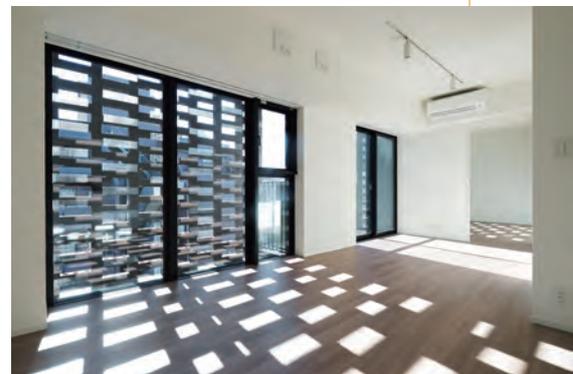




◆ KDX レジデンス赤坂

▶ 木下昌大建築設計事務所
一級建築士事務所（東京会）

都心の高密度な住環境においては、周辺から適度に距離を保つための工夫が必要となる。既存の集合住宅の多くは、水平バルコニーに面した開口部に対し、カーテンなどにより内外との関係が切り替えられるが、ここではそれに加え、レンガブロック透かし積みのスクリーンによるセミオープンな開口を用い、内外の関係に幅をもたせた。また、スクリーンを千鳥配置することで、奇数・偶数階でスクリーンの位置が交互に入れ替わり、住戸パターンが多様化する。住戸の多様性を確保し、街の風景を刷新する、集合住宅の新しいプロトタイプを目指した。



建設地：東京都港区／用途：共同住宅・店舗／構造：RC造／階数：地上10階／面積：敷地面積 314.87㎡ 建築面積 200.48㎡ 延面積 1,507.86㎡

優秀賞 | 小規模建築部門



◆ 狭山の森 礼拝堂 ▶ 一級建築士事務所 NAP 建築設計事務所（東京会）

三角形の土地に木々の枝葉を避けて壁を内側に倒すことで、森という超越的な存在に供する空間を作ろうと考えた。構造は2本の登り梁を立て掛け合う扱首構造を全方位的に展開した三次元的な合掌造り。それらを覆うのは地元の職人が製作した流紋豊かなアルミ砂型鋳物の乱葺き屋根で、複雑な3次元局面に合わせて1枚ずつ手曲げて葺かれている。床はわずかに祭壇へ傾斜しており、人は無意識のうちに祭壇へ向かい、奥の森に祈る。祈る人々の手の中は、指1本1本が合わさり、あたたかで小さな空間が生まれる。この建築は、その小さな祈りの空間をそのまま取り出したような形をしている。人々とともに、建築も祈るのである。

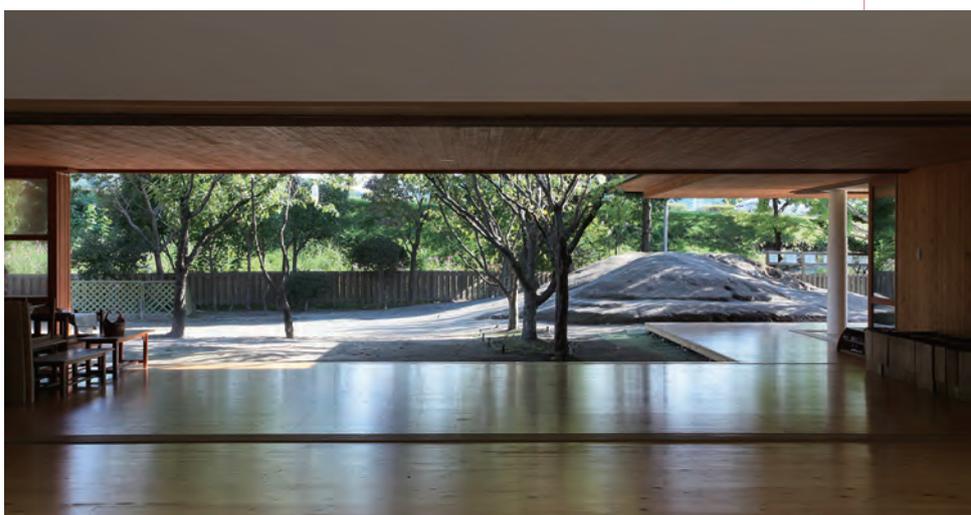
建設地：埼玉県所沢市／用途：神社、寺院、教会（納骨堂）
／構造：RC造（一部木造）／階数：地上1階／面積：敷地面積 148.22㎡ 建築面積 69.32㎡ 延面積 110.49㎡





◆山の子保育園▶野口大介建築設計室・藤松建築設計室・HAL設計室（長野会）

子どもの自主性を重んじ、体を動かしながら伸び伸びと育つことを理念とするこの保育園の設計にあたり、自然を感じられる開放的な建物とすることを心掛けた。中心となるホールの前に、深い庇に守られた半外部のデッキを造り、各保育室を結ぶように巡らせた。軒の先には、園庭と小高い緑の堤防が繋がり、自然豊かな外部空間を形成している。年齢差なく園児を交流させるため、保育室の壁を可動間仕切とし、庭へもホールへも隣室を抜けて自由に行き来できる。ホールと厨房は視覚的に繋がり、調理の様子をうかがえる。



建設地：長野県松本市／用途：保育園（児童福祉施設）／構造：S造（2階建て）木造（平屋建て）／階数：地上2階／面積：敷地面積 2,567.7㎡ 建築面積 670.21㎡ 延面積 666.54㎡



◆実業印刷本社ビル▶プラネットクリエイションズ関谷昌人建築設計アトリエ（奈良会）

角地に計画したこの建物の内部はできるだけオープンにし、セクションごとに壁で仕切る代わりに各階ごとのフロア高さを変え、エリアを緩やかに区切っている。その構造はスチールの65角無垢の柱を2本抱かせたモノストラクト工法で、木造のような軽やかさをもった空間となった。また、ハネ出したガラスの回廊は他へ移動する立体動線であるとともに、外部の景色や光を取り込む装置として機能している。内部を可能な限り社会に開き、かつ、そこに働く人からも、常に周りの景色や人の動き、時間の流れを感じられる建築を目指した。

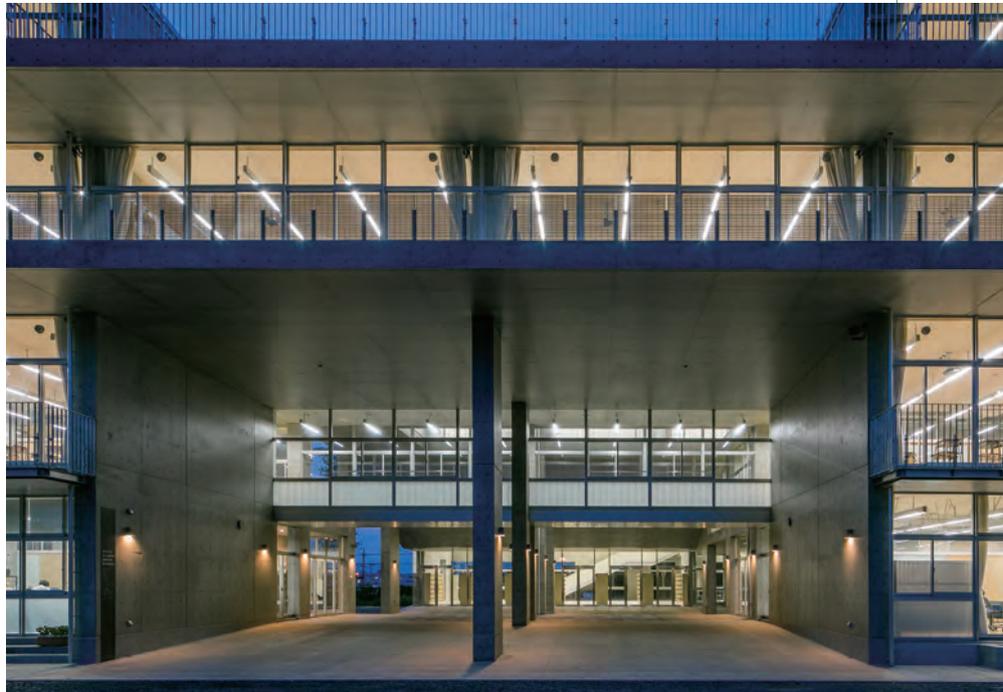
建設地：奈良県奈良市／用途：事務所／構造：S造／階数：地上3階／面積：敷地面積 279.67㎡ 建築面積 150.45㎡ 延面積 322.90㎡



◆石岡第一高校管理・普通教室棟▶三上建築事務所・エイプラス建築関連業務共同企業体（茨城会）

伝統ある校風にふさわしい校舎を目指し、2層分のピロティを校舎中心に据えた、特徴的な冠木門形の外観デザインとした。ピロティは生徒、職員、来客者の総合玄関であるとともに、雨でも使える外部の空間となっている。既存の駐車場、給食室、特別教室棟から位置を決定した校舎は、山王門と称したピロティを中心に、校内の外部動線の整理に加え、全日制、定時制、職員、来客を明確にゾーン分けした。また、強度型の耐震壁付ラーメン構造とし、安全に配慮した。

建設地：茨城県石岡市／用途：高等学校／構造：RC造 一部S造／階数：地上4階／面積：敷地面積 73,667.00㎡ 建築面積 2,298.25㎡ 延面積 5,446.04㎡



◆北見信用金庫紋別支店▶北海道日建設計（北海道会）

紋別市の主要産業が林業であること、穏やかな夏期環境、利便性の高い立地条件から、「まちの産業を生かす」「まちの交流拠点づくり」「まちの環境を生かす」を目標として計画した。木材の暖かみのある意匠性、高い比強度などの構造性能を生かしつつ、耐震性能などの弱点をRC・鉄骨で補い、新しい構造架構空間を創出した。森林使用構造材は紋別近隣産材に限定し、近郊の工場加工することで「地産地消」を実現した。

建設地：北海道紋別市／用途：銀行支店／構造：木造 RC造／階数：地上2階／面積：敷地面積 1,584.60㎡ 建築面積 686.70㎡ 延面積 1,141.55㎡



◆ 新栄保育園 ▶ 一級建築士事務所 16 アーキテクト (東京会)

敷地東側の豊かな緑陰を借景として取り込むためのリボン窓が印象的な保育園である。建物の端から端まで視線が通り、1階からも2階からも中庭越しに子どもたちの様子がよくわかる空間構成とした。同じ年の子どもだけでなく異年齢の子どもたちの活動が日常的に垣間見えることで、子ども同士の刺激や発見・成長につながる保育空間となっている。リボン窓やブリッジ、階段、広場、斜路など都市的エレメントが配置され、子どもたちはあたかも都市を経験するように、この保育園の内外を体験していく。

建設地：東京都新宿区／用途：保育所／構造：S造／階数：地上3階／面積：敷地面積 1,094.25㎡ 建築面積 728.20㎡ 延面積 1,525.82㎡



◆ 桐朋学園大学調布キャンパス ▶ 日建設計一級建築士事務所 (東京会)

最適なレッスン室の大きさ、プロポーション、天井高さなどが楽器ごとに異なることから、バラバラな大きさの部屋をそのままの形状を保ちながら積み木のように積み上げ、多様なレッスン室をフレキシブルに配しつつ、一体感を造り出すことを目指した。三層に積み上げた異なる不均質なグリッドの執拗な調整のフィードバックが生み出す微細な「変化」や「ぶれ」により、集落をさまよい歩くような連続感や意外性が埋め込まれた豊かな全体性を生み出している。

建設地：東京都調布市／用途：音楽大学／構造：RC造／階数：地上2階、地下1階／面積：敷地面積 3,305.22㎡ 建築面積 1,942.89㎡ 延面積 5,828.91㎡



◆ KKC 健康スクエア ▶ 竹中工務店名古屋一級建築士事務所（愛知会）

健康診断・人間ドックなどを事業とする施設。建物は機能を明快に分けた3つの棟とそれをつなぐラックスホールで構成している。それぞれの棟の間には3つの性格の異なる庭があり、内部と外部との関わりに変化をつけている。この建物の特徴づける大きな三角形の屋根は、「矩勾配」といわれる45度の屋根とし、周辺地域のランドマークとなり、周辺の工業地域のスケールから低い軒高にいたる人間的なスケールにつなぐことを意図した。

建設地：三重県津市／用途：診療所／構造：S造／階数：地上2階／面積：敷地面積 12,856.78㎡ 建築面積 1,805.74㎡ 延面積 2,555.59㎡



奨励賞 | 小規模建築部門

◆ 浜松信用金庫きらりタウン支店 ▶ 日建設計一級建築士事務所（愛知会）

新規顧客の獲得をめざし女性スタッフのみで運営する店舗として、強いインパクトとやさしい印象とが求められた。市章や信金のロゴに使用されている遠州灘の「波」、楽器産業の盛んな当地のシンボルとしての「音＝波」を取り上げ、街のランドマークとなることを目指した。波形状の屋根を利用した環境配慮を行っているほか、天井高も平面計画に合わせて変化し、各空間に合った開放感や落ち着きを与えている。また、シャッターを取りやめ、街に開かれたファサードとした。内外に連続する天井には地場産材の天竜杉を用い地域密着をアピールした。

建設地：静岡県浜松市浜北区／用途：信用金庫／構造：RC造（一部S造）／階数：地上2階／面積：敷地面積 1,420.01㎡ 建築面積 442.83㎡ 延面積 523.46㎡



❖ 日立の家 —コンクリート数寄屋— ▶宮本建築アトリエ（茨城会）

間口が狭く、南北に長い敷地において、来客とプライベートのゾーンを明確に分けるため、リビング・ダイニングを中心として、西側を来客ゾーン、東側をプライベートゾーンとした。コンクリートという重厚な素材を使いながらも、大きさも性格も異なる5つの庭とのつながりを持たせた日本的な配置と、光や風、風景が家の中に入り込んでくるような、数寄屋住宅を表現した。5つの庭と住宅はフラットな状態でつながり、老後も快適な状態で過ごせるよう配慮されている。

建設地：茨城県日立市／用途：一戸建て住宅
／構造：RC造／階数：地上1階／面積：敷地面積 472.2㎡ 建築面積 186.06㎡ 延面積 167.07㎡



❖ 森の中の森の家

▶イチ・デザイン・ラボ（山梨会）

森の中を散策するような気持ちよさを、スキップフロアによる段差や仕切りを最低限にすることで表現した。そして開口部からガラス越しに広がる風景は、本物の森である。住宅内部からの視線をその森へ自然に向かわせるため、室内外の壁を漆喰にし、外への視線の引っ掛かりを減らした。また、スイッチやコンセントも壁と違和感のないものを選び、床・建具等も同一の杉としてシンプルなデザインとした。厳しく豊かな森の中の天候や四季によって様変わりする外の風景は、自然に掛けかえられていく絵画のようになっている。

建設地：山梨県南都留郡／用途：一戸建て住宅／構造：木造／階数：地上2階／面積：敷地面積 1,500.07㎡ 建築面積 56.64㎡ 延面積 87.59㎡



◆右京の家▶波多野一級建築士事務所（京都会）

隣地からの空きを十分確保し、建物のボリュームを低く抑え、敷地の形状に合わせた伸びやかな平面形状とした。また、既存地盤面の穏やかな高低差に沿って床レベルを設定し、敷地の地盤面と屋内床レベルの関係を重視した。庭と建物の構成については京都の伝統的な平面計画を参照し、7種類の性格の異なる外部空間（庭）に55種類の草木を植え、1年を通じて季節感溢れる計画を目指した。空間の中心に置く大きな家具は、家具作家とコラボレートして設計、製作した。

建設地：京都府京都市右京区／用途：一戸建て住宅／構造：木造／階数：地上2階／面積：敷地面積 1,437.19㎡ 建築面積 260.59㎡ 延面積 339.99㎡



◆このすまい▶内野設計（徳島会）

大震災に備える仮設住宅の試行として建てられた施設。等高線に沿って細長い小建築を連ね、2間幅の建築の基礎はさらに半分の1間とした。基礎からの床の張り出しは方杖として、高床的な新しい町の景観創出を図っている。宿泊棟は仮設住宅となることを想定し、発災時のスムーズな材料供給のための事前の木材備蓄も考慮して、すべての棟を3寸5分角の柱材だけで建てられる構法とした。1期工事での方杖から、2期工事では重ね梁としてさらに施工性を高めた。

建設地：徳島県海部郡／用途：農林漁業体験施設／構造：木造／階数：地上1階／面積：敷地面積 不明 建築面積 271.58㎡ 延面積 203.67㎡

